

謹賀新年

市民アーカイブ多摩
開館9周年

いつも市民活動資料活用・保存にご協力くださり、ありがとうございます。旧年も資料と人のつながりに教えられ・支えられながら、少しずつ前進することができました。

今年も資料を未来につなげていきたいと思っています。引き継ぎ、みなさまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

世界中の人にとって平和が訪れる年になりますように。

ネットワーク・市民アーカイブ運営委員一同

◇二〇二二年の活動・発見

①総会記念講演会の松野哲二さんのお話から、一枚のピラが当時の活動や思いを伝えるだけでなく、今をも問われることを学んだ。

②市史編纂室から市民活動資料についての照会あり。市民の動きを記録する市民活動資料がより活用されてきているが、それぞれの地域の公共図書館での収集・保存は自治体によってかなり異なっている。本年二月四日に関連する集会を開催予定(表面参照)。

③「緑蔭トーク」を四回(元山仁士郎さん、奥田さが子さん、中村光さん、池谷キワ子さん・岡田誠さん)開催。新たな対話と出会いが継続している。

④「現場を訪ねる」で福島原発事故を記憶し、検証しようとする三館を訪問。資料保存とともに、伝える人の力の大きさを実感。

⑤法政大学環境アーカイブズ見学。当会が寄贈した一九七〇〜八〇年代のミニコミを閲覧しながら語り合った。丁寧な保存に感謝。

⑥総会参加の参加会員同士で、市民活動資料へのそれぞれの思いを共有できた。

運営委員・資料整理ボランティア募集中！



④原子力災害考証館 furusato (いわき市) 11.27



①総会記念講演会「一枚のピラから」 6.5